

競技注意事項

1. 本大会は、令和2年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)

長距離種目はスパイク不可

4. コールは行わない。競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、(フィールド種目も) 係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
また、1回目のスタートでフライングがあった場合、2回目以降のスタートでは、フライングした選手を即失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)
6. 100m、リレーの選手は、自分のレーンを走り、他のレーンの選手の妨害になる行為をしないこと。
7. リレーにおいては、従来のテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)を含めてテークオーバーゾーンが30mとなる。ゾーンの入口から20m地点が100mの基準線となる。走者はこのゾーン内から走り始め、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。
8. 記録会のため、決勝は実施しない。
走り幅跳びも、全員3回の試技のみとする。
9. 表彰は行わない。参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと)記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。
10. 各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。
11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。